

## 【大矢の社会科提案】

# 社会や国家の課題と課題解決の目的や要因、及び結果を総合して、社会的事象の意味をとらえる子ども

「何のために社会科を学ぶのか」「社会科の学習でどのような子どもを育てたいのか」  
社会科は、将来の主権者を育てる重要な教科です。私は、次のことを提案します。

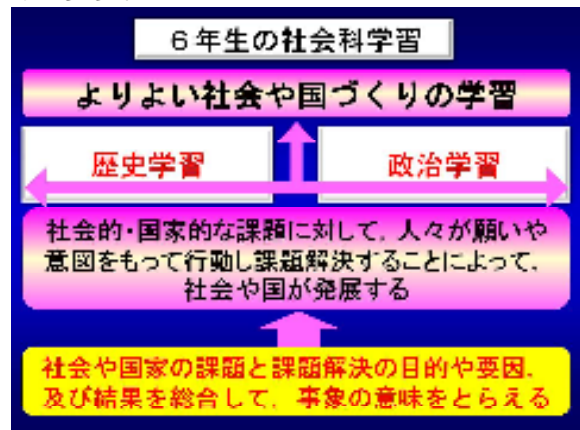
## 【提案：その1】6年生の社会科学習で目指す姿

6年生の社会科で「よりよい社会や国づくりの概念を獲得する子ども」を目指します。

よりよい社会や国づくりの概念とは、「社会や国家の課題に対して、人々が願いや意図をもって行動し課題解決することによって、社会や国家が発展するということ」です。

将来、主体的によりよい社会の形成に参画するために必要な資質となるこの概念を、年間の歴史学習と政治学習を通してとらえさせます。

そのためには、取り上げた事例から、子どもが社会や国家の課題と課題解決の目的や要因、及び結果を総合して、社会的事象（歴史的事象を含む）の意味をとらえることが必要です。各単元の学習で、社会的事象の意味をとらえることが、よりよい社会や国づくりの概念の獲得につながるのです。



## 【提案：その2】くらしと政治の学習（公開授業）

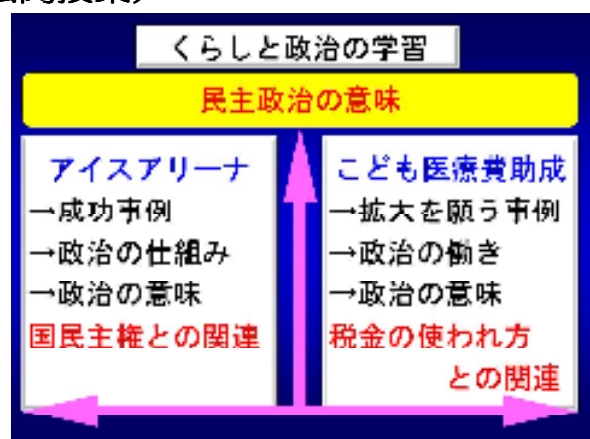
本単元では、「政治は主権者である多くの人々の願いやよりよい社会を実現するために行われている」という民主政治の意味をとらえる子どもを目指します。

アイスアリーナの事例は、国民主権の政治の仕組みと、人々の願いを実現するという政治の意味が分かりやすい事例です。

しかし、この事例の学習だけではいけません。政治の意味を広い視野から考えさせる必要があります。

そこで、医療費助成の事例を取り上げます。多くの人々の願いと、よりよい社会を実現するためには、一つのことばかりにお金をかけられない。みんなの税金を使って、多くの人々の願いやよりよい社会を実現しようとしている政治の働きをとらえさせるのです。

→詳細は指導案をご覧ください。



### 【提案：その3】社会科におけるアクティブ・ラーニング

子どもが学習問題を設定し、主体的に調べて考え、社会的事象の意味をとらえる授業を目指しています。今年度は、右の図のような展開で授業を行ってきました。左が教師の働き掛け、右側が促される子どもの姿です。

特に今年度は、間の事実（課題解決の目的や要因となる事実）が分からない「対象①」を提示することで、子どもの追究意欲を引き出すことができました。

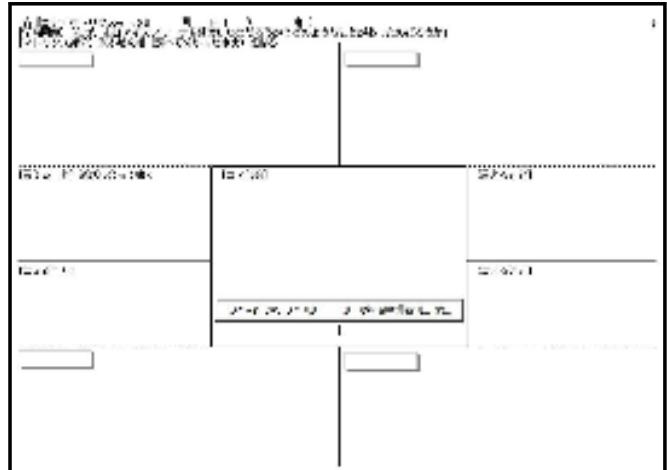
また、事実の解釈を問う発問により、比較・関連付ける思考を促すこと。結論を問う発問により、総合する思考を促すことができました。子どもが社会的事象の意味をとらえていくアクティブ・ラーニングの提案です。

社会的事象の意味をとらえさせる授業	
対象① 事象の結果と課題の提示	(1) 課題解決の目的や要因を追究する学習問題を設定する
対象② 事実の視点の設定と資料提示	(2) 追究の視点を基に、学習問題の解決につながる事実を調べる
対象③ 事実の詳細を問う発問	(3) 複数の事実を結び付けて学習問題について考える
対象④ 学習問題の目的や要因を問う発問	(4) 課題解決の目的や要因を明らかにし、事象の意味をとらえる

### 【提案：その4】中心概念に迫る、「コア・マトリクス2」

「コア・マトリクス2」は、情報の整理・分析を促し、学習問題について多面的・多角的に考えたり、情報を比較、関連付け、総合して考えたりすることができるように考案した思考ツールです。個人、グループ、全体で活用できます。

子どもは、マトリクス部分（外側）が埋まると、それらを総合してコア部分（中心）を考えたいくなります。思考が可視化されるので、考え方の自覚にも有効です。



今年度は、調べた事実の解釈（言えること）が見えるように改良しました。

### 【提案：その5】授業のふり返り「社会科日記」

学習後、①学習したこと、分かったこと、考えたこと ②考え方のコツ を必ず入れて書くように指導しています。継続して行うことで、子どもは自分の学習過程や考え方を自覚することができるようになります。

- ※ 本時の授業、及び本単元については、別紙「指導案」「指導計画」をご参照ください。
- ※ シェアリングタイムでは、本時の授業における子どもの姿を基に、働き掛けの有効性や改善点などについてご意見ください。よろしくお願いいたします。
- ※ 別紙「6学年2組社会科シェアリングタイムシート」をご確認ください。

☆ 本日はたくさんの皆様にご参会いただき、たいへんありがとうございました！  
また来年度もお待ちしております。社会科の授業について語り合いましょう。